



広報

さつま 2013 11

No.104

ひと・自然 元気がやぐ さつま町

獅子舞が福を呼ぶ

獅子舞体験活動
柊野小学校

- 2 第5回町民体育祭
- 4 平成25年度上半期の予算執行状況
- 5 平成25年度水道事業の上半期執行状況
- 6 住宅リフォーム補助制度
- 7 シリーズ 子どもたちが元気！ 学校が元気！
- 8 地域医療を考えるシンポジウム アンケート結果
- 10 まちのニュース
- 16 保健師だより
- 17 まちの歴史探訪
- 18 暮らしの情報
- 21 お便りコーナー
- 23 誕生・おくやみ 1歳で～す
- 24 人・夢 休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

獅子舞体験活動



10月11日、柊野小学校で行われた獅子舞体験活動の様子。（P13に関連記事）

秋空の下、爽やかに

第5回町民体育祭



保護者の声援を受け力強く走りました（もうすぐ1年生）

10月13日、雲一つない秋空の下、宮之城運動公園で第5回町民体育祭が開催されました。町民体育祭は、町体育協会主催で2年に1度開催され、20支部（公民館）が2つのパートに分かれて様々な種目で競い合いました。今回は新種目として「それいけマイボール」や「ジャンケン大会」も行われ、会場は大いに盛り上がりしました。恒例の「みんなおどいもんそ」では、老若男女が大きな輪になり踊りを披露。この日のために特訓を重ねたさつまちゃんも参加しました。最後の種目である男女総合リレーでは各地域選出のアスリートが集結し熱き戦いが繰り広げられました。会場からは大きな拍手と声援が送られ、今年も大盛況の体育祭となりました。



タイミングを合わせジャンプ!!



やった！入りました!!



正々堂々戦うことを誓います！



応援で地域を盛り上げます



それ！何個入るかな？

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
男子総合リレー	女子総合リレー	まちをきれいに呼吸を合わせて	長縄とび	まわせばわかるさ!?	みんなおどいもんそ	スポーツ少年団対抗リレー	ジャンケン大会	ステップアップリレー	もうすぐ1年生	それいけマイボール	給水リレー	マラソン	ねらいをさだめて	小中高生リレー	玉入れ		プログラム



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①さつまちゃんも楽しく踊ったよ（みんなおどいもんそ）
- ②最後の最後で…抜いたと～!!（呼吸を合わせて）
- ③地域のために一生懸命走ります！（小中高生リレー）
- ④どっちが勝った？（スポーツ少年団対抗リレー）
- ⑤一斉にスタート（マラソン）
- ⑥応援にも力が入ります。頑張れ～!!



Bパート優勝 鶴田支部



Aパート優勝 柏原支部

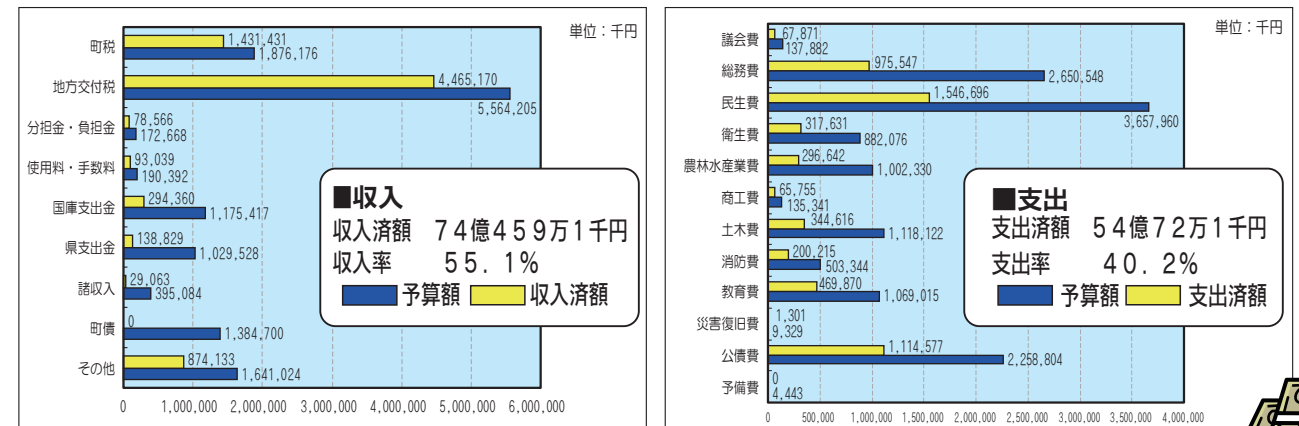
大会結果	
Aパート	優勝 柏原支部
準優勝 神子支部	
3位 宮之城屋地支部	
Bパート	優勝 鶴田支部
準優勝 時吉支部	
3位 平川支部	
躍進賞 宮之城屋地支部	

上半期の一般会計予算執行状況

予算総額 134億2,919万4千円

上半期（9月末）の一般会計予算執行状況は、収入額が74億459万1千円（収入率55.1%）、支出額が54億72万1千円（支出率40.2%）となっています。

収入については、国からの地方交付税等が上半期に多くなる反面、国・県支出金や地方債（借入金）については、建設工事をはじめとする補助事業等の完了時期が年度末になることから下半期に多くなります。支出についても同様で、災害復旧事業や災害関連経費を含めた補助事業等の完了時期の関係により、下半期に多くなります。



補正予算の
主な内容

補正予算額
2億7,919万4千円

主な事業の補正予算額は
右のとおりです。

- 社会資本整備総合交付金事業費（道路改良舗装工事等）…………… 4,655万1千円
- 過疎対策道路整備事業費（道路改良舗装工事等）…………… 3,380万円
- 県単急傾斜地崩壊対策事業費（急傾斜地崩壊対策工事）…………… 1,900万円
- ごみ処理管理費（灰出しコンベヤー補修、屋根防水修繕）…………… 1,900万円
- 道整備交付金事業費（測量設計業務、補償費等）…………… 1,220万円
- 農業基盤整備促進事業費（農道改良舗装工事、測量設計業務）…………… 1,200万円
- 予防接種事業費（予防接種補助）…………… 1,182万2千円
- 少子化対策事業費（すこやか子育て支援手当）…………… 930万円
- 有害鳥獣捕獲事業費（緊急捕獲等対策報償）…………… 901万円

上半期の特別会計予算執行状況

特別会計	予算	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業特別会計	34億3,050万円	15億7,349万8千円	46%	14億3,483万5千円	42%
後期高齢者医療特別会計	3億1,900万2千円	9,045万6千円	28%	8,353万円	26%
介護保険事業特別会計	30億1,400万3千円	15億731万1千円	50%	12億3,134万8千円	41%
介護サービス事業特別会計	2,200万円	780万7千円	35%	1,005万2千円	46%
農業集落排水事業特別会計	4,328万7千円	3,336万3千円	77%	1,870万3千円	43%

基金(貯金)の状況

基金名	金額	基金名	金額
財政調整基金	36億6,619万円	まちづくり振興基金	4億4,016万円
減債基金	2億220万5千円	地域公共交通対策維持確保基金	3,252万3千円
住宅新築資金等貸付町債償還基金	53万8千円	公共施設整備基金	3億2,008万円
退職手当組合調整特別負担金基金	2億2,868万2千円	土地開発基金	1億2,855万6千円
町営住宅建設等基金	8,136万3千円	肉用牛特別導入事業基金	2,183万2千円
役場庁舎建設基金	9億4,837万2千円	奨学資金貸付基金	4,118万9千円
電源立地地域対策交付金事業基金	6,356万2千円	国民健康保険基金	2億4,187万7千円
ふるさとさつま応援基金	197万2千円	国民健康保険高額療養資金貸付基金	1,000万円
災害対策基金	7,044万9千円	介護保険給付費準備基金	5,090万1千円
子ども健やか育成基金	9,022万8千円	農業集落排水事業施設等維持補修基金	1,812万4千円
		合計	66億5,880万3千円

平成25年度
水道事業の
上半期執行状況

平成25年度上半期の水道事業の概要は、次のとおりです。



●平成25年度上半期業務量（平成25年9月30日現在）

項目	上水道事業		簡易水道事業	
	25年度予定	25年9月末	25年度予定	25年9月末
給水件数	4,662件	4,640件	5,666件	5,663件
総給水量	1,055,500m ³	534,767m ³	1,241,352m ³	663,946m ³
1日平均給水量	2,892m ³	2,938m ³	3,401m ³	3,648m ³

●平成25年度上半期執行状況（平成25年9月30日現在）（単位：千円）

科目	上水道事業			簡易水道事業		
	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率
収益的収入	145,384	74,019	50.9%	241,797	115,714	47.9%
収益的支出	133,989	61,843	46.2%	234,655	96,326	41.1%
資本的収入	4,969	2,104	42.3%	80,589	50,000	62.0%
資本的支出	49,635	22,622	45.6%	192,001	95,886	49.9%

薩摩工業団地へのメガソーラー設置に向け基本協定



握手する日高政勝町長と岩崎一美代表取締役(左)

9月26日に、薩摩工業団地へのメガソーラー設置に向けた基本協定の調印と売買契約の締結を大和電機株式会社（本社：霧島市、岩崎一美代表取締役）と行いました。

薩摩工業団地は、これまで工業団地として分譲していましたが、本町におけるクリーンエネルギーの推進を目的に、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の設置希望事業者を公募したところ、3社の応募があり、審査の結果、大和電機株式会社に決定しました。

今回のメガソーラー計画では、大和電機株式会社が町土地開発公社の分譲地約1.9haを取得し、出力1,660kW、ソーラーパネル約6,800枚を設置して一般家庭約550世帯分の使用量に相当する年間162万6,348kWhの発電を行い、発電した全量を九州電力株式会社に売電するものです。

さつま町副町長の紹介

10月2日、副町長の人事案件が提案され、総務課長の紺屋一幸氏が議会の同意を得て選任されました。任期は、平成25年10月3日から平成29年10月2日です。



紺屋 一幸
副町長

紺屋 一幸（求名）
こんや かずゆき

昭和31年9月3日生（57歳）
昭和55年1月薩摩町職員に採用
さつま町企画広報課長補佐、定住促進室長、総務課長などを歴任

紺屋副町長あいさつ

さつま町の素晴らしい地域資源を最大限に活用し、町民の皆様にとって「夢と希望の持てる元気なさつま町」の実現のために、充分な会話を行いながら誠心誠意努力してまいります。皆さまのなお一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

はじまります

住宅リフォーム補助制度

町では、町民が安全で安心して住める快適な居住環境の維持・質の向上と併せ、地域経済の活性化、雇用の創出を図るため、町民が町内の施工業者を活用して個人住宅のリフォームを行う場合、予算の範囲内においてその費用の一部を補助します。



●補助内容

既存の個人住宅の部屋の増改築や屋根、外壁、内装等の改修などの20万円（消費税相当額含む）以上の工事が対象となり、リフォーム工事費の20％に相当する額を補助します。

上限額：一般世帯20万円、子育て世帯30万円。（千円未満の端数は切り捨てます）

子育て世帯とは、中学生以下の子どもと同居している世帯です。

●補助対象者

- ・さつま町内に居住し、住民登録を有する方
- ・リフォーム工事を行う住宅の所有者
- ・町税等を滞納していない方
- ・リフォーム工事を行う住宅に自ら居住し、又は配偶者若しくは二親等以内の者が居住している方。

●補助対象住宅

- ・補助対象者が所有し、町内に建っている個人住宅又は併用住宅（個人住宅部分のみ）が対象です。賃貸住宅は対象外です。
- ・補助を受けようとするリフォーム工事について、さつま町等の住宅関連助成制度の補助対象となる工事と重複していないこと。

●施行業者

- ・さつま町内に本社、営業所等の事業所を有する法人
- ・さつま町内に住所を有し、かつ、現に居住している個人業者

●申込み方法等

- 申請書一式・見積書・図面・施工箇所の写真などが必要ですよ。
- 申請様式は本庁建設課、鶴田・薩摩支所に用意してあります。
- ※申請前に着手していたら補助を受けられません。

リフォーム工事については、町登録業者の施工でなければ補助の対象となりませんので、ご注意ください。

●平成25年度募集日時

第1回募集

■受付日時

11月13日（水）
11月14日（木）

午前9時30分から午後4時30分まで

■受付会場

宮之城ひまわり館いきいき学習室

第2回募集

■受付日時

11月25日（月）
午前9時30分から正午まで

11月28日（木）
午前9時から午後4時30分まで

■受付会場

宮之城ひまわり館いきいき学習室
（注）右記日時以外の受付は、行いません。

※補助金交付申請の申込みは、申請者に代わって代理人が申請することが出来ます。代理申請のときは、委任状が必要です。

●補助対象者の決定

予算の範囲を超えた場合は、抽選を行い決定いたします。

【抽選日時等】

■日時 12月2日（月）
午後2時から

■場所 宮之城ひまわり館いきいき学習室

ご存知ですか!?

産地がわかる! 米トレーサビリティ制度

《米穀事業者の皆さまへ》

- ◆お米や米加工品の流通には、取引記録の作成・保存と産地情報の伝達が法律で義務付けられています。
- ◆一般消費者にお米や米加工品を販売・提供する場合には、産地情報の伝達を行うことが法律で義務付けられています。

《消費者の皆さまへ》

◇外食店や小売店等において、メニューや店内掲示、商品の容器や包装を見ていただくと、原料米の産地がわかります。



制度に関するお問い合わせ先

九州農政局 鹿児島地域センター 099-222-0122



子どもたちが元気! 学校が元気!

教育活動の紹介①

泊野小学校

『泊野のよさを音楽で表現する』活動

泊野小学校では、「さつま学」として、絵画・写真・詩・作文・歌などで泊野を表現する活動に取り組んでおり、泊野のよさを音楽で表現する活動を重点活動としています。

授業では、鹿児島作曲協会の音楽家の指導を受けながら、泊野のよさが詰まったふるさと泊野の歌を子どもたちが作り上げていきます。

まず、夏休みに、泊野区の皆さんにも協力をいただき、「大切にしたい、残したい泊野」をテーマとした言葉を集め、子どもたちが中心になって歌詞にまとめました。



その後、音楽家の指導を受けながら、曲をつくる授業を6回行いました。残り6回の授業で曲を完成させ、保護者や校区の皆さんに



◀音楽に親しむ子どもたち



▲作曲協会の方々と相談しながら曲作りを行う子どもたち

流水小学校

『ステップアップ流水つ子』活動

流水小学校では、「ステップアップ流水つ子」活動」と銘打ち、学力向上に力を入れて取り組んでいます。今年度は、実物投影機（書画カメラ）を購入し、ICTを活用した授業を展開しています。

（写真1・2）また、授業外では、「学びタイム」を設定して、一人一人の学力の状況に応じた学習活動を進めています。（写真3）さらに、今年度から「家庭学習強調週間」を定期的に設け、「がんばりチェックカード」を活用して家庭学習の習慣化を目指しています。（写真4）

学習の内容や状況に応じて、実物投影機や大型テレビ等のICT機器を効果的に活用することによって、児童は視覚的に学ぶことができ、学習内容に対する興味関心が高まり、知識の定着につながっています。



▶写真1 実物投影機を使った授業①

また、一人一人の学力の状況に応じた授業外



▲写真3 「学びタイム」の様子



▶写真2 実物投影機を使った授業②



写真4 家庭学習がんばりチェックカード

町の医療体制を学びました

シンポジウムについて

9月7日に鶴田中央公民館で開催された「地域医療を考えるシンポジウム」の内容については、10月号でお知らせしました。

これまでもお伝えしてきたとおり、町内唯一の二次医療機関である薩摩郡医師会病院の医師の勤務体制や消防本部の救急体制は厳しい状態にあります。そのため、町民一人ひとりが適切な診療を受けることや健康な生活を心がけ自分の身は自分で守る姿勢が求められています。

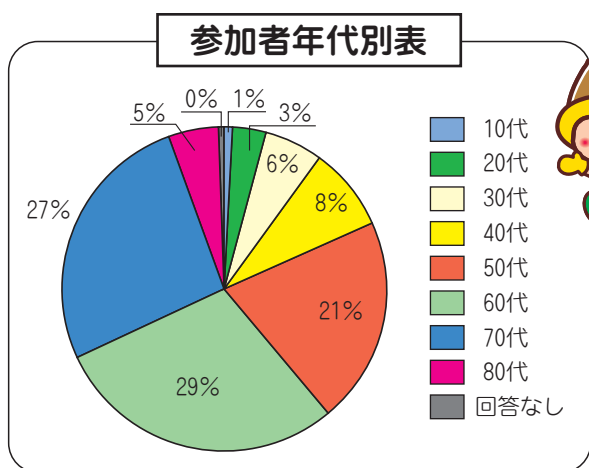
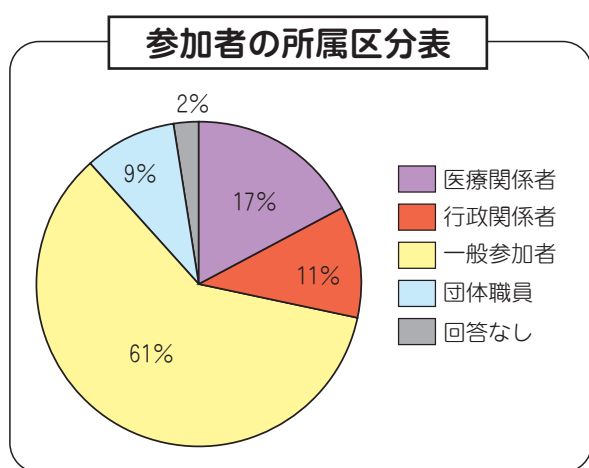
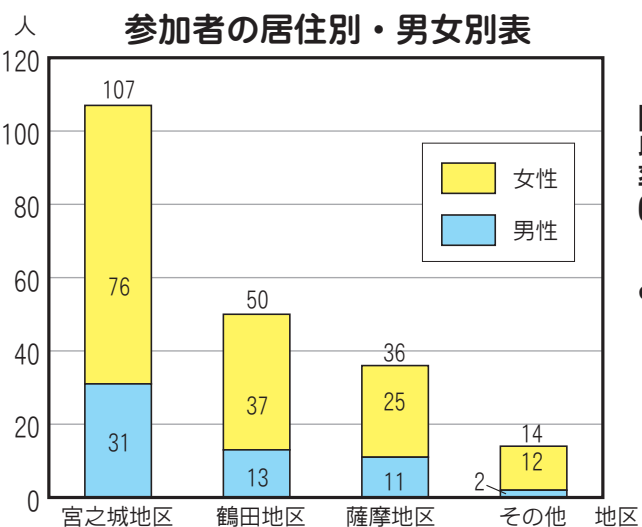
今月号では、シンポジウムに参加された皆さまからいただいたアンケート結果についてお知らせします。下の表及び次のページの意見については、当日実施したアンケートの結果です。

アンケート結果

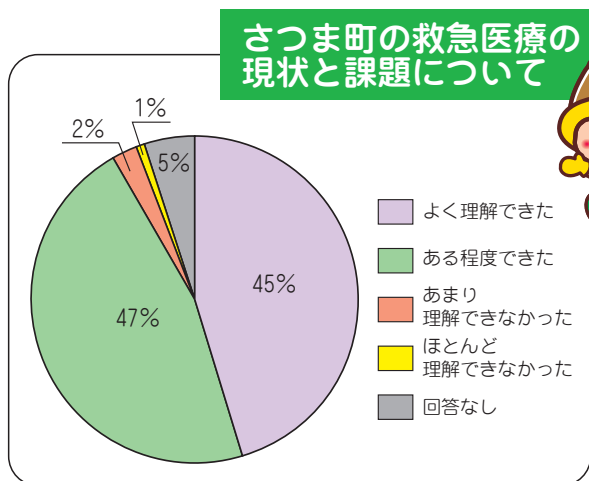
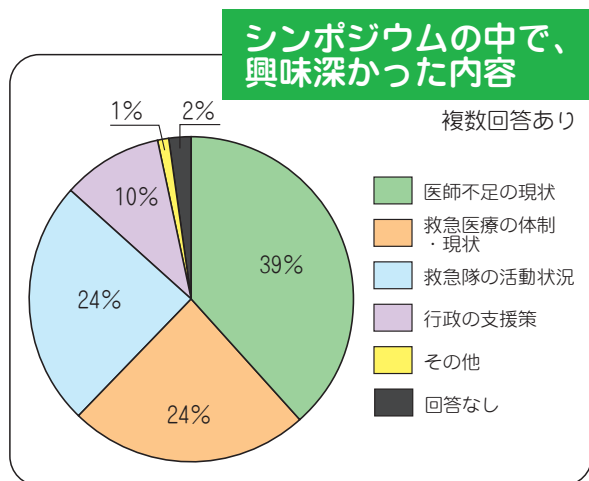
参加者327人
アンケート回収数207枚
回収率63・3%



シンポジウムの様子



50代から70代の方の参加が多いね



9割の方に理解していただけた

その他、聞きたかったことはありませんでしたか？

- ・小児科、産婦人科ができないのか。
- ・学生を育てやすいシステムがほしい。
- ・さつま町で全額奨学金を準備し、医師確保はできないものか。
- ・ドクターヘリの1回の運行値段はいくらか。
- ・住民は危機感を持っているか。
- ・在宅医療について。
- ・合併前の祁答院地区消防本部における、旧祁答院町分の出資はどうなっているのか。

次回取り上げてほしいテーマ（課題）があれば、ご記入ください。

- ・認知症問題
- ・地域医療の先進地に学ぶ
- ・現場で働いている当事者を招待し、現場の声を聞く
- ・国民健康保険の収支状況
- ・今回のテーマをもっと興味を引くようなタイトルで継続してほしい。
- （例）救急医療の現状と未来、地域の医療・救急医療を守ろう等
- ・体制維持のために個人でできる支援策
- ・医師不足の改善策
- ・産科設立
- ・救急救命講習会（またはその方法）

「基調講演・趣旨説明」について

興味をもった内容等があれば、ご記入ください。

- ・全部に興味あり：2件
- ・川薩医療圏連携：14件
- ・医師増対策：12件
- ・救急医療の実情（Drヘリ含）：7件
- ・在宅医療：5件
- ・地域医療の現状と課題：3件
- ・かかりつけ医制度：2件
- ・草野会長の話：2件
- ・高松教授の講演：2件
- ・死亡別原因：1件
- ・司会者のまとめの事例：1件

現在の地域医療について感じていることなど、ご自由に記入ください。

- ・一人暮らし、夫婦暮らしが多い中、近隣とどのように生活を助け合っているか、家族はどのように最期を迎えられるようにするか、具体的に考える必要がある。（宮之城・女性30代）
- ・薩摩郡医師会の診療科と先生方が少なくなっているので不安を感じます。（宮之城・女性60代）

参加者の感想など

- ・お医者さんとの交流を大いにやりた。機会を作ることが大切です。（宮之城・男性50代）
- ・町民が直接、地域医療の現状・課題を聞くことで、お互いの共通理解を深められたことは意義深かった。全ての町民に今日の内容が伝わってほしいシンポジウムでした。（宮之城・男性30代）
- ・川内市医師会との連携や病院との連

- ・さつま町から医師養成事業を行えばよいと思う。（薩摩・女性50代）
- ・かかりつけ医がなく困ることがあります。（宮之城・女性60代）
- ・国の制度によりおかしくなったのであれば、国の制度でよくしてほしい。（宮之城・男性50代）
- ・医師の技術経験向上のため、薩摩郡医師会病院のサテライト化は必要なのではないかと思う。（他町・女性50代）
- ・高齢化が進む中、郡医師会病院に泌尿器科の医師がいらっしゃらないのは悲しい。ぜひ考えてほしい。（宮之城・女性60代）
- ・新臨床医制度は、県が先頭に立って制度見直しを進め地方の医師確保をしてもらえるよう国に働きかけていただきたい。（宮之城・男性60代）
- ・高齢化の中で遠くの病院に通えない。町内で診療科を備えてほしい。（薩摩・男性70代）

携が必要だと痛感させられました。（鶴田・女性50代）

- ・救急隊の過酷な勤務状況が理解できました。体に気を付けて頑張ってください。（宮之城・女性60代）

- ・さつま町は医師確保のためにもう少し助成できないか。（宮之城・女性70代）
- ・さつま町の地域医療がこんなにも大変な状態だったのかと改めて考えさせられました。（鶴田・女性50代）
- ・地域医療の現状・課題を浮き彫りにし、それぞれの立場で考える方向性（大学の努力、医師会としての考え方、行政の努力、住民にできること）私も努力します）が出ていた。（鶴田・女性40代）

- ・初めて参加しましたが、非常に感激しました。医療について深く関心をもりました。（宮之城・男性60代）
- ・誰も病気になる人はいないが、自分の健康は自分で守るしかないと思います。（宮之城・女性70代）
- ・救急処置の方法等研修を受けたいと思います。（薩摩・女性60代）
- ・町民として医師の負担が少なくなるよう、自分たちでできること、気を付けなければならないことをもう一度考えるべきだと思います。（薩摩・女性60代）

- ・今回、参加された皆様よりたくさんの意見をいただきました。地域医療については様々な課題がありますので、今後も広報紙等を通じてお知らせします。



たくさんのひがん花でお出迎え

9月23日、第15回柘野ひがん花祭りが開催されました。今年は、晴天の影響で開花が早まり一部では日焼けしているところもありましたが、県内外から多くのお客さんが訪れ、ひがん花散策を楽しみました。

散策の途中では、柘野小児童による史跡の説明も行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、鹿児島実業高等学校新体操部の発表もあり、普段見ることの出来ない華麗な演技に、たくさんの拍手が送られました。

真っ赤に咲いた ひがん花 柘野地区



鹿実新体操部の華麗な演技



柘野郷土芸能保存会による棒踊り



柘野小児童による仏飯講の説明

9月21日、さつま町子ども会親子科学☆実験隊が、鹿児島市立科学館を訪れました。

これは、親子で身近な科学に興味・関心を持つてもらい、発見することの喜びや考えることの大切さを学び、科学技術への夢を育てると共に、親子の絆を深めてもらおうと計画されたもので、子どもや保護者など64人が参加しました。

当日は、館内展示見学のほかに、科学実験ショーや、満



科学実験ショーの様子



科学に興味津々の子どもたち

科学技術を体験 親子科学☆実験隊

全国自作視聴覚教材コンクール（社会教育部門）において、山崎の野崎正寛さんが制作された「あやかちゃん」が踊った「ふるさとの文化を受け継ぐ小学校文化財少年団」が、最も優秀な作品に与えられる文部科学大臣賞を受賞しました。

このコンクールは、地域に根ざした学習のための教材が求められる中で、その視聴覚教材作り奨励と活用を目的としています。

今回受賞された作品は、県の自作視聴覚教材コンクールで優秀賞を受賞し、県視聴覚教育連盟の推薦により全国のコンクールに出品されたもの



賞状を手にする野崎さん

文部科学大臣賞受賞 野崎正寛さん

です。視聴覚教材として映像的に優秀であることはもとより、現在全国的に課題となっている地域の伝統文化継承の解決のヒントがあるという点が特に評価されました。

道路愛護県知事表彰 広橋公民会

9月25日、道路愛護団体の県知事表彰伝達式が町長室で行われ、広橋公民会が表彰を受けられました。

これは永年にわたり道路の環境美化に努め、著しい功績のあった団体に贈られるもので、受賞された広橋公民会は集落周辺の町道などの除草作業や支障樹木の伐採などを、永年にわたり地域総ぐるみで実施されており、その功績が認められました。



表彰状を手にする広橋公民会の登山さん

女性の意見を町政に 町長と語る会開催

9月20日、さつま町女性団体連絡協議会（内村正子会長ほか参加者8団体35人）と町長と語る会が開催されました。

町長の講話のあと、小・中学校の適正化計画や各種委員の女性登用について町長の説明がありました。参加者は女性の視点に立った活発な意見交換を行いました。

また、役員会でのクリーンセンター施設研修の報告として、家庭から出るごみの分け方と出し方について説明があり、ごみの減量化や資源ごみの分別の徹底に努めるよう会員に周知されました。



活発な意見交換がなされました

かかしを作ったよ 盈進小学校

9月19日、盈進小学校体育館で5年生を対象にかかし作り体験が行われました。

これは、町の学校応援団の事業を利用したものです。

講師の諏訪親代さん（中津川）は、「（かかしは）風の日も雨の日も、昼も夜も立っていないといけません。今にも飛び出しそうなかかしを作りたい」と話されました。

児童は各家庭で不要になった衣料品などを持参し、5、6人ずつのグループに分かれて作業を行いました。完成後、児童は「友だちと一緒にたくさんアイディアを出していい物が出来ました」と笑顔で話してくれました。



諏訪さんの説明を聞く児童

町から7頭出場！ 県畜産共進会

9月28日、始良中央家畜市場にて、第62回鹿児島県畜産共進会が開催されました。共進会は、県内11地区から肉用牛59頭が出品され、改良重点項目である体型面と管理面の改善点について審査が行われました。

薩摩地区からは、川薩畜産共進会で選出された7頭（全頭がさつま町内）が出場しました。

また、薩摩中央高校からも高校生等出品区へひさひめ号が出場し、リーダーの川上聖志さんが、同高校での取組等について発表しました。個人・団体成績は、次のとおりです。

《個人成績》	
種目・名号	出品者・成績
・若雌1区	ふみ号
・羽子田繁	最優秀13席
・若雌1区	さつちゃん号
・徳重真生	最優秀14席
・若雌1区	じゃいこ号
・徳重真生	優秀賞
・若雌2区	たから188号
・徳重真生	最優秀6席
・父系群	ももこ2号
・東次男	優秀賞
・父系群	れいこ11号
・宝満辰郎	優秀賞
・父系群	ゆりこ号
・徳重真生	優秀賞
《団体成績》	
地区別共進会団体成績	
第5位	薩摩地区
地区別団体知事賞成績	
第4位	薩摩地区



最優秀6席 若雌2区 たから188号



かかしと一緒にハイ・チーズ！

さつまるちゃんが お迎え 玄関マット

10月18日、役場本庁舎玄関にさつまるちゃんの玄関マットが登場しました。

これは、ダスキン若葉 宮之城店さんが地域を盛り上げようと製作されたもので、現在、町内52か所で活躍中です。

マットは1種類で、製作には2週間かかるそうです。

役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。



役場玄関で待ってまへす

技能五輪出場

11月22日から25日まで千葉県幕張メッセで開催される「第51回技能五輪全国大会」に、宮之城高等技術専門校から4人の選手が県代表として出場します。参加競技種目は、建築大工部門と家具部門です。出場する生徒は「県代表として出場するので、学んだことを全国大会で十分発揮して優勝できるようにがんばります！」と話してくれました。皆さんのご声援をよろしくお願いたします。

■出場選手氏名（敬称略）
建築大工部門 徳永 和正
建築大工部門 近江園 翔
家具部門 井上 宏樹
家具部門 引地 友祝



左から引地さん、井上さん、近江園さん、徳永さん

宮中ソフトテニス部 活躍中

8月27・28日に開催された第20回鹿児島県中学校夏季ソフトテニス研修大会で、宮之城中学校ソフトテニス部が2年男子団体戦で優勝しました。優勝メンバー（敬称略）
Aチーム
矢野開輝・大野響生・今村政博・新留光貴・岩元黎治・城下優斗

また、9月21日に開催された第44回鹿児島県知事杯ソフトテニス選手権大会の男子個人戦で、矢野・大野ペアが優勝しました。
このほか、同部は様々な大会で優秀な成績を収めています。



後列左から岩元さん、城下さん、大野さん、山下先生、前列左から新留さん、矢野さん、今村さん

地域で過ごす秋の一夜 求名区十五夜

10月5日、求名区十五夜祭が求名交流館で開催され、子どもからお年寄りまで多くの人で賑わいました。
当日は剣道の型披露や飛び入り自由参加のサイダー早飲み競争、尻すもうなどが行われました。会場は笑いにあふれました。また、女性団体「野の風」の皆さんが用意した団子と焼きそばがふるまわれ、訪れた人はいしそくに食べていました。



尻すもう「ハッケヨイ ノコッタ」



サイダーの早飲み競争

船木区伝統芸能 豊年踊り

10月6日、船木区農業構造改善センターで伝統芸能豊年踊りが開催されました。
豊年踊りは、3年に一度開催され、4公民会が区内の三神社に踊りを奉納します。



子どもたちも頑張りました！

スポーツでいきいき 高齢者クラブ

10月1日、町高齢者クラブ連合会主催による「第8回いきいきシルバースポーツ大会」が宮之城総合体育館で開催されました。

大会には、町内の単位老人クラブ16チームの約350人が参加し、輪投げやお手玉入れなど8種目の競技が行われました。

会場は終始、和気あいあいとした雰囲気、選手の皆さんの元気な動きに、応援の方も盛り上がりしました。

なお優勝は船木旭チーム、準優勝は船木東チーム、3位は上平川チームでした。

この3チームは、11月に薩摩川内市で行われる川薩地区いきいきシルバースポーツ大会に出場します。



一本矢旗踊り（船木東公民会）



三本矢旗踊り（船木下公民会）



棒踊り（旭公民会）



棒踊り（流水小学校棒踊り保存会）



勇壮な秋津島舞（湯田秋津島舞保存会）

湯田八幡神社大祭 伝統芸能披露

10月6日、湯田八幡神社境内で行われました。
当日は、「秋津島舞」と流水小学校児童14人と中学生10人の計24人による「棒踊り」が披露され、見物客から、多くの拍手が送られました。



いろんな獅子舞ができました

獅子舞で遊ぶ 柘野小

10月11日、柘野小学校体育館で、次代を担う子どもの文化芸術体験事業の一環として獅子舞体験活動が行われました。

講師には、全国で公演を行っている舞台実演家の多田純也さんを招き、児童は獅子舞の頭づくりに挑戦。すり足の練習をして獅子舞を動かしたり、また太鼓を使ってリズムをとり仲間とのコミュニケーションを図りました。

児童からは「祭りでしか獅子舞を見たことがなかったです。滅多にない経験が出来たので、獅子舞を持って帰り家族に見せたいです」と感想がありました。

各地で運動会開催



児童・中学生による鷹踊り



ボールを上手に操ります



コーンめがけて「ソイツ」

月夜の下で演奏会



迫力ある合同演奏

10月12日、北薩広域公園で第27回お月見コンサートが開催されました。

盈進小学校・鶴田中学校・宮之城中学校吹奏楽部のほか、地元のコラスグループや吹奏楽団が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。

参加団体全員による合同演奏では、幅広い年齢の音楽家ゲストがステージいっぱいに並び、観客は迫力のある演奏を楽しみました。

宮之城吹奏楽団のアンコールでは、軽快なリズムにあわせて飛び入りのお客さんが切れるのある見事なダンスを披露されるなど、会場は大いに盛り上がりしました。

当日は、農業青年クラブによる焼き鳥や、菜々小町のうどんなども販売され、訪れた人の体を温めていました。ちくりん村主催の手作りコンサートは今年も大成功のうちに終わりました。



さつまの風景

さつま町在住のイラストレーター・今別府千草さんの2014年カレンダー「さつま町の風景」が完成しました。はがきサイズで表紙を入れ、13枚で構成されています。さつま町の四季の風景をやさしいタッチで描いています。宮之城鉄道記念館さつま物産館で限定販売しております。



四季の風景をお楽しみください

楽しく

地域貢献中

10月12日に開催されたお月見コンサートでは、町青年団メンバー13人も会場設営や片付けなどを手伝いました。

団長の福島英之さんは、「さつま町は吹奏楽の町であり、地域の特徴を生かした素晴らしいイベントに関わることで出てきても楽しかったです。充実感のある活動でした」と話されました。現在団員26人。様々な職業の若者が集まり、ボランティアや他市町村との交流等を行っています。

さつま町 青年団



抽選会のお手伝い（お月見コンサート）



跳人としても参加（町夏まつり）



揃いのボロシャツで道路標識清掃



新庁舎建設事業

《現場だより》⑧

朝夕が涼しくなった9月、新庁舎建設は、議場部分のコンクリート打設が終わり、躯体工事のすべてが終了しました。現在、サッシが取り付けられ、内装工事が進められています。

当日は、大林・本田JV（共同企業体）の黒木所長がパワーポイントを使いながら、空間を大きくとるために採用されたPRC梁（プレストレス鉄筋コンクリート）や外壁タイルの特徴など、分かりやすく説明されました。

9月末までの出来高は42.9%（計画比△0.99）です。



説明を受ける生徒の皆さん



3種目で新記録が誕生 町小学校陸上記録会

10月10日、宮之城運動公園で第9回さつま町小学校陸上記録会が開催され、町内14小学校の5・6年生が出場しました。選手達は、友だちや保護者の声援を受けて、精いっぱい競技し3種目で大会新記録が樹立されました。

各種目の1位と大会新記録は次のとおりです。（敬称略）

◆800m走

5年女子 中須 瑠菜
（盈進小） 2分49秒4
※大会新記録

※大会新記録



男子800M

◆400mリレー

5年女子 盈進小
1分04秒9

◆60mハードル走

6年女子 若吉 真帆
（盈進小） 11秒6
6年男子 黒木 達矢
（盈進小） 10秒4

5年女子 柳澤 香菜子
（山崎小） 16秒1
5年男子 内藤 雪宗
（山崎小） 15秒0
6年女子 指宿 玲那
（柏原小） 15秒1
6年男子 池田 龍星
（山崎小） 14秒0

5年男子 岩田 光瑠
（盈進小） 2分46秒2
6年女子 太田 華乃
（盈進小） 3分01秒1
6年男子 池田 龍星
（山崎小） 2分33秒1



①男子走り高跳び
②女子400mリレー
③元気いっぱいの選手宣誓
④応援にも力が入ります



平川小で特別授業

原田隆二先生



原田先生による授業の様子

10月11日、平川小学校体育館で原田隆二先生（水俣病研究の第一人者で患者の救済に努められた故・原田正純先生の弟で白石病院の院長）による特別授業が行われ、3・6年の児童及び地区住民約60人が参加しました。

原田先生は、平川での思い出のほか環境と健康をテーマにした授業を展開。水俣病については、視野が狭くなる、感覚が無くなるといった症状や、胎児が母体で亡くなることなど話されました。宮之城歴史資料センターでは、特別展「原田正純のまなざし」を11月17日まで開催中です。



健康さつま21 こんにちは保健師です

子どもの健やかな成長のために遊ぶことの大切さ

子どもの健やかな成長は皆の願いです。そのために大切なことは、まずは身体づくり。「食べる・遊ぶ・寝る」これが子どもにとっては基本となります。

次はこころ育て。「楽しい食事」「おいしいおやつ」「うれしい遊び」「おもしろい経験」「自分の気持ちかわかってもらえる安心感」「大好きな人がいる喜び」「ホッとする時間」どの家庭にも何気なくあるあたりまえのこともありませんが、このあたりまえのことが子どもの成長にとって、とても大切なことなのです。

子どもにとって「遊ぶこと」は乳児期からとても大切なことです。目と目を合わせ、お歌を歌って身体を触ってあげたり、いないいないばあや追いかけっこ、こちよこちよくすべりや、高い高いなど、子どもがお父さんやお母さんと一緒に遊び楽しいと感じるひと時が、成長の力になります。お散歩や砂場遊び、公園で一緒に遊ぶことも、子どもたちにとって大好きな遊びのひとつです。一緒に見る絵本も子どもの想像力をひろげます。

一緒に遊ぶことで身体の使い方が上手になったり、共感の気持ちがあふくからみ、自我が育ち自分の気持ちをコントロールできるようになったり、いろんなことを自分で見て聞いて考えることで、見通す力やことばの力が育ち、子どもの生きる力につながります。

お父さん、お母さんと一緒に遊ぶ子どもの瞳はきらきら輝いています。きっとまた子どもさんの素敵な所や新しい成長を発見できると思います。

■お問い合わせ先

健康増進課 健康増進係
☎(53) 1111 (内線2143・2144)

よかところ再発見

まちの歴史探訪⑩

さつま町の庚申塔

さつま町



虎居の庚申塔

このような庚申信仰が一般に広く行われるようになったのは江戸時代以降ですが、古くは室町時代頃から行われていました。宮之城虎居の庚申塔には、享祿四年(1521年)、鶴田の庚申塔は、天文三年(1534年)の銘が刻まれています。

これらの庚申塔は、江戸時代以降に広く作られる板碑型のものでなく五輪塔型のもので、県内でもかなり古いものです。いずれも県の指定文化財となっています。町内の庚申講は、鶴田では正月・五月・九月の十八日、薩摩では毎年一月の庚申の日に行われていました。



鶴田の庚申塔

この庚申の日の夜に眠らずに過ごすことで、三戸の虫を外に出さず寿命を延ばそうというものが庚申待ちと言われるもので、これを行う集団は庚申講と呼ばれました。

狩猟解禁

お知らせ

今年も11月15日(金)から狩猟免許を持ったハンターによる狩猟が解禁され、野生鳥獣を捕獲するため猟銃やわなを使用した狩猟が県内一斉に開始されます。

さつま町内だけでなく、他の市町でも狩猟以外で野山に入られる方は次のことを心がけてください。

- ・山林内では、なるべく見通しの良い道を利用する。
- ・ラジオ等の音響機器を携帯する。(音を出して人間がいることをハンターに分からせる)
- ・ハンターがあなたを鳥獣と見間違わないように、目立つ格好・服装をする。

【狩猟期間】

原則として11月15日から翌年2月15日まで
※イノシシ、シカについては猟期が3月15日まで延長されています。

【狩猟が行われる場所】

鳥獣保護区や休猟区等狩猟が禁止されている区域を除く県内全域。

狩猟者の皆様へ

昨年度も、狩猟中における事故・違反が発生しています。出猟の際には、狩猟者必携(平成25年度版)に掲載されている注意事項等を再確認し、狩猟時の安全確保には十分留意されるよう努めてください。

- ・脱包の施行
- ・矢先の確認と獲物の確認
- ・細心な銃器の取り扱い
- ・適正な猟犬の管理
- ・適正な「わな」の管理と標識の設置
- ・冷静な行動
- ・目立つ色の帽子、ベストの着用

町では狩猟者の方々の負担軽減を目的に、捕獲器(箱わな・くくりわな)の購入費用の一部補助を行っています。詳しくは、役場へお問い合わせください。

■お問い合わせ先

☎(53) 1111
耕地林業課 林務係
鶴田支所 耕地林務係 (内線2432)
鳥居支所 耕地林務係 (内線4126)
薩摩支所 耕地林務係 (内線6133)



大人気の「さつま大鍋」

第9回 さつまフェスタのご案内

楽しいステージ、たくさんの「農林産物」や「特産品」等の展示即販売、親子で楽しめるゲーム、郷土芸能祭、『さつま大鍋』の無料試食会など盛りだくさんの内容で皆様をお待ちしております。また、青森県鶴田町のりんごや中種子町の実産物も販売します。

■日 時 11月17日(日)
午前9時～午後3時
■場 所 薩摩総合運動公園(求名)
■共催イベント みやんじょ五ツ太鼓まつり
■主 催 さつまフェスタ実行委員会
＜お問い合わせ先＞
さつま町役場 農政課農政係
☎53-1111(内線2422・2423)

こども図書館を特別開館＆「0円古本市」を開催！ (古本を無料で差し上げます)

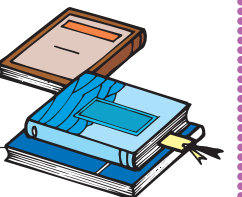
さつまフェスタの開催に合わせて、こども図書館～えほんの森～を特別開館します。フェスタにお越しの際は、ぜひこども図書館にもお立ち寄りください。

また、当日の午前10時から午後3時まで、薩摩支所入口横の通路で「0円古本市」も開催します。町図書室で利用しなくなった図書を、お1人5冊までご自由にお持ち帰りいただけますので、ぜひご利用ください。ご家庭にある不要となった図書と交換することもできます。

(雑誌・漫画本との交換はご遠慮ください。)

なお、屋地楽習館図書室・鶴田中央公民館図書室は休館となりますので、ご注意ください。

＜お問い合わせ先＞ さつま町教育委員会 社会教育課 社会教育係 ☎53-1733(直通)



看護師さん募集!!

&

看護学校奨学金制度 あります!

働きながら資格が取れます!

薩摩郡医師会病院 ☎0996-53-0326



墓石 納骨堂
銘碑の彫り込み
墓石・納骨堂 解体・撤去
お墓のリフォーム

確実な信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居通
さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

健康診査日程 (11・12月分)

健康増進課 健康増進係
内線2144

乳幼児健診・健康相談

■1歳7～8か月児

(H24・3生) 健診

11月20日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■7～8か月児

(H25・3生) 育児相談

11月15日(金)

午前9時～午前9時30分

受付(宮之城保健センター)

■3歳児

(H22・9生) 健診

11月27日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■すくすく相談

12月6日(金)

午前9時～午前10時受付

(宮之城保健センター)

■2歳3か月児

(H23・8生) 歯科健診

12月5日(木)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■4か月児

(H25・7生) 健診

12月11日(水)

午後0時30分～午後1時
受付(宮之城保健センター)

■母子健康手帳交付

11月25日(月)

12月9日(月)

12月16日(月)

午前9時30分～午前11時

(宮之城保健センター)

※健康保険証・印鑑をお持ちください。

■フッ化物塗布

11月20日(水)

11月27日(水)

12月5日(木)

午後3時～午後4時受付

(宮之城保健センター)

■屋地楽習館健康相談

12月3日(火)

12月17日(火)

午前9時30分～午前11時

(屋地楽習館)

■「えほんの森」身長・体重測定

12月13日(金)

午前10時～午前11時30分

(こども図書館 えほんの森)

11月は労働保険適用促進
強化月間です

商工観光課 商工振興係
内線2241

《労働保険の加入手続きは
お済みですか》



労働保険とは、労災保険と雇用保険とを総称した言葉で、政府が管掌する強制保険制度です。

※労働者を一人でも雇用していれば、原則として業種・規模の如何を問わず労働保険の適用事業となり、事業主は加入手続きを行わなければなりません。

※労働保険の加入手続きや各種届け出を労働保険事務組合等に委託する制度もあります。

お済みでない事業主の方は、お早めに関入手続きをお願いします。

■お問い合わせ先

ハローワーク宮之城

☎0996(53)0153

川内労働基準監督署

☎0996(22)3225

10月から12月までウナギの採捕を禁止します！

総務課 広報文書係
内線2214

鹿児島県内水面漁場管理委員会、鹿児島海区漁業調整委員会、熊毛海区漁業調整委員会では、近年、急激

な資源の悪化が見られるウナギ資源を保護するため、次のとおり委員会指示を出しました。

■禁止する水産動植物

全長21cmを超えるウナギ

(全長21cm以下のウナギは、年間を通じて採捕禁止)

■禁止期間

毎年10月1日から12月31日まで(ウナギが産卵回遊に向かう時期)

■禁止区域

鹿児島県内の河川などの内水面及び海面(奄美市、大島郡を除く)

■指示の有効期間

平成28年3月31日まで

■お問い合わせ先

県庁水産振興課

☎099(286)3428

FAX099(286)5613

e-mail:gyochou@pref.kagoshima.lg.jp

給与所得者の年末調整

税務課 町民税係
内線2111

12月は、給与等に係る源泉所得税の年末調整の月です。

毎月の給与等から源泉徴

収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する年税額とは一致しないのが普通です。

このため、源泉徴収税額の過不足分を精算する必要があります。

「年末調整」と呼んでいます。大部分の給与所得者は、年末調整によりその年の所得税の納税を完了することになりますので、年末調整が正しく行われるためには、勤務先に扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。

詳しくは、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。

■お問い合わせ先

川内税務署

☎0996(22)2830

※自動音声案内

今月の納税など

税務課 収納第1係
内線2113

・国民健康保険税第5期
・後期高齢者医療保険料第5期
・介護保険料第5期

【納期限12月2日】



へ届け出て許可等を受ける必要があります

心配ごと相談所

福祉課 福祉障害係
内線2135

■毎週木曜日

午前10時～正午

宮之城ひまわり館

■お問い合わせ先

町社会福祉協議会

☎(52)1123



9月の火災・救急情報

救急

◆出動件数 65件
運んだ人 63人
◆内訳 急病 35件 35人
交通事故 4件 3人
その他 26件 25人

火災

◆発生件数 4件
内訳 建物 1件
林野 1件
その他2件



かわごえ たつや
川越 達也 さん

平川小学校6年



兄と二人でゲームを作りたい

ぼくの夢は、ゲームデザイナーになることです。ゲームデザイナーとは、キャラクターやゲーム機などのデザインをする人のことです。ぼくは、絵やキャラクターを描くのが得意です。そして、ぼくの兄がゲームクリエイターになりたいということも知っています。「ぼくも手伝えることはないかな」と思いついたのが、ゲームデザイナーです。将来は、兄と二人でみんながワクワクして楽しめる、カッコいいキャラクターがたくさん登場するアクションゲームを作りたいです。



竹紙を使用しています
(竹パルプ 10%配合)

休日在宅医

11 月

10日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
17日	海江田医院	☎53-0006
23日	林田内科	☎53-1177
24日	宮之城病院	☎53-0180

12 月

1日	立志病院	☎55-9119
8日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
15日	クオラリハビリテーション病院	☎53-1704

休日薬局

11 月

10日	青空薬局	☎52-0101
17日	タバタ薬局	☎21-3344
23日	ウチ薬局	☎53-0063
24日	ヘルシー薬局	☎21-3739

12 月

1日	フタヤ薬局	☎59-2033
8日	青空薬局	☎52-0101
15日	my 薬局さつま	☎29-3100

わたしたちの町

推計人口による

人 口	23,043人 (+ 3人)
男	10,646人 (- 2人)
女	12,397人 (+ 5人)

世帯数 9,776世帯

転入	54人	転出	41人
出生	16人	死亡	26人

(平成25年10月1日現在)

() は前月対比